

- 平成23年に国の構造改革特別区域法によるワイン特区の認定を受け、農業者が自ら生産した果実を原料としてワインやリキュールを製造し提供する農家民宿や農家レストランを営む環境を整備。
- 持続可能な体制づくりを目指し、農業・漁業・文化財施設のほか、ウイスキーやワインなど複数の観光資源を組み合わせた多彩なメニューの提供など、宿泊者数の増加に向けた取り組みを実施。

【地域の概要】

北海道余市町



＜地域の特徴＞

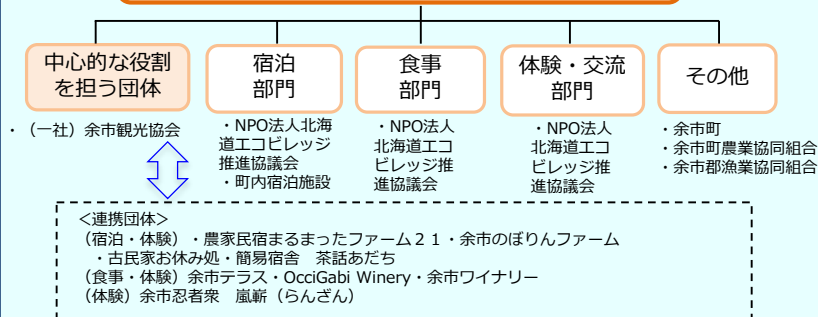
- ニセコ積丹小樽海岸国定公園の一部で美しい景観、遺跡等の文化財など観光資源が豊富。
- リンゴやブドウなど北海道の果樹生産の拠点として発展。
- ニッカウヰスキー余市蒸溜所の建造物9棟が国の登録有形文化財に認定。



ニッカウヰスキー
北海道工場余市蒸溜所

【実施体制】

余市町観光地域づくり協議会 (事業実施主体)



＜運営体制＞

- 余市町は札幌市から日帰り圏であるため、典型的な通過型観光になっていたが、平成27年に北海道版構造改革・地域再生特区に認定され、農家民宿事業の充実を目指す。滞在型の農作業体験による都市との交流を進め、販路拡大による農家所得の向上、農業の6次産業化を推進。持続可能な体制の強化のため、余市観光協会が中心となり平成30年に地域協議会を設立。

＜個性あふれる地元の人材活用＞

- 新鮮な海の幸の宝庫である余市の漁港ガイドに、水産業の歴史や営みなど豊富な知識を持つ元水産業普及指導員を活用。数少ない現役女性漁師によるウニ剥き体験も実施。
- 余市町で農業もこなす忍者エンターテイナー「嵐斬(らんざん)」と手裏剣や忍者刀を使った体験も可能。



元水産業普及指導員による
漁港散策



忍者体験

【取組内容】

＜宿泊に関する取組＞

- リンゴ農家民宿に泊まって果樹栽培の歴史を学んだり、北海道産の木材や古材を使った一棟貸の宿泊施設で地元住民との交流を楽しむ宿泊プランを販売。
- タブレットを活用し、余市町内にある宿泊施設14軒(ホテル・旅館6軒、民宿等8軒)の予約状況を一元化。余市観光協会で管理することでコーディネート機能を拡充。



農家民宿まるまったファーム



旧余市福原漁場



夏のワイナリーツアー



冬のワイナリーツアー

＜体験に関する取組＞

- ニッカウヰスキーだけでなく、ニシン漁の歴史を今に伝える「旧余市福原漁場」、江戸時代からある運上家では唯一とされる「旧下ヨイチ運上家」などの文化財施設、余市の海産物を使った寿司握り体験、果樹園で収穫した果物の加工体験などを組み合わせた滞在型商品を販売。
- 町内には11軒のワイナリーがあり、国内で有数のワイン産地。収穫体験だけでなく、冬はスノーシューでブドウ畑散策など四季ごとのワイナリーの楽しみ方を提供。

＜PRに関する取組＞

- 余市町の魅力をまとめたミニ冊子を作成し、観光客に余市町を知ってもらうとともに、子供たちをはじめ、地域住民が歴史や産業、農泊推進の柱となる体験観光メニューなど地域の魅力を知ることによって誇りを持ってもらい、観光客をガイドしながら一緒に楽しむ体制を構築。



ミニ冊子「PATHFINDER」